

1 施設概要

施設名	高知市針木運動公園		施設所管課	スポーツ振興課				
指定管理者名	公益財団法人高知市スポーツ振興事業団							
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日		公募・指名の別	指名				
設置目的	高知市の体育施設の一元的な管理運営と生涯スポーツの普及・振興を図る。							
業務内容	1. スポーツ施設の管理運営全般(施設利用許可含む) 2. 施設使用料の徴収事務 3. スポーツ振興に関する自主事業実施							
施設内容	・多目的グラウンド(ソフトボール2面) ・テニスコート 5面							
職員体制	常勤職員	0人	非常勤職員	0人	契約社員	0人	合計	2人
	パート職員	0人	アルバイト	0人	その他	2人		

※ 職員体制は、地元団体の委託業者を受付業務で、2名配置している。

2 目標値と達成状況(指定管理者記入欄)

指標	平成 27 年度 (1 年目)		平成 28 年度 (2 年目)		平成 29 年度 (3 年目)	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
事業参加者満足度(点)	3.70	3.60	3.70	3.69	3.70	3.57
施設利用者満足度(点)	3.50	-	3.55	3.22	3.60	-
事業参加者数(人)	50	106	70	126	90	76
施設利用者数(人)	19,000	15,441	19,100	11,595	19,200	9,748
施設利用率(パーセント)	25.00 %	23.29 %	25.50 %	19.82 %	26.00 %	17.80 %
施設使用料収支率(パーセント)	60.50 %	55.77 %	60.50 %	52.58 %	61.00 %	41.07 %
目標値に対する達成状況について			施設利用者満足度:アンケート結果によるもので目標にわずかに届かなかった。「教室開催場所への来やすさ」が2.94となり、立地条件の課題が大きい。事業参加者数:前年から1事業増加に伴う。施設利用者数:周辺にある学校の利用減少が主な要因と考えられる。		事業参加者満足度:アンケート結果によるもの。近隣小学校へのチラシ配布により「教室開催場所への来やすさ」の満足度が増加した。事業参加者数:事業回数減少及び指導職員退職による教室内容変更が減少の要因。施設利用者数:28年度に引き続き周辺にある学校の利用減少が主な要因と考えられる。	

3 利用状況(指定管理者記入欄)

	平成 27 年度 (1 年目)	平成 28 年度 (2 年目)	平成 29 年度 (3 年目)	
利用者数	15,441 人	11,595 人	9,748 人	
利用者数:対前年度比	93.5 %	75.1 %	84.1 %	
開館日数	360 日	359 日	359 日	
利用率	多目的グラウンド	20.75 %	19.89 %	19.76 %
	テニスコート	24.29 %	19.79 %	17.02 %
利用状況についての評価			①学芸中学校及び朝倉中学校の利用が減少。 ②施設老朽化による全体的な利用も減少傾向にある。 高校生以下の利用が減少している。また、施設老朽化により全体的に利用は減少傾向にある。特にテニスコートはサーフィスの全面改修が必要であり、改修されるまではさらなる利用者の減少が見込まれる。	

※ 利用率の算定方法: 利用率=使用数÷使用可能数  
 仮にテニスコートの場合、実際の使用数(各コートごとの使用時間)を使用可能数(コート面数×1日の使用可能時間×日数)で除した数が利用率となる。

4 収支状況(指定管理者記入欄)

単位:千円

		平成 27 年度 ( 1 年目)	平成 28 年度 ( 2 年目)	平成 29 年度 ( 3 年目)
収入	指定管理料	3,385	3,159	3,901
	利用料金収入	0	0	0
	自主事業収入	33	43	12
	その他収入	0	0	0
	収入計	3,418	3,202	3,913
支出	人件費	0	0	0
	光熱水費	154	133	147
	保険料	77	72	77
	委託料	2,413	2,454	2,539
	修繕費	471	140	0
	事業費	276	360	1,141
	消費税及び地方消費税	5	5	6
	その他の公課費	1	1	2
	事業所税	0	0	0
	その他	21	37	1
	支出計	3,418	3,202	3,913
差引収支 (収入計-支出計)		0	0	0

※ 施設使用料は利用料金制度を導入せず、指定管理者へ徴収委託し高知市の収入としている

5 運営状況分析指標(指定管理者記入欄)

	平成 27 年度 ( 1 年目)	平成 28 年度 ( 2 年目)	平成 29 年度 ( 3 年目)
① 利用料金比率	- %	- %	- %
② 指定管理料比率	- %	- %	- %
③ 人件費比率	0.0 %	0.0 %	0.0 %
④ 利用者1人当たりの管理コスト	221 円	276 円	401 円
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	219 円	272 円	400 円
⑥ 外部委託費比率	71.3 %	77.7 %	64.9 %

※【運営状況分析指標の考え方】

指 標	指 標 の 説 明
① 利用料金比率	収入の総額に対して利用料金収入の占める割合を表す。
② 指定管理料比率	収入の総額に対して指定管理料の占める割合を表す。
③ 人件費比率	支出の総額に対して人件費の占める割合を表す。
④ 利用者1人当たりの管理コスト	支出の総額を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	指定管理料を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑥ 外部委託費比率	支出の総額に対して外部委託費の占める割合を表す。

6 利用者の満足度調査等(指定管理者記入欄)

		平成 27 年度 ( 1 年目)	平成 28 年度 ( 2 年目)	平成 29 年度 ( 3 年目)
調査の実施内容	① 調査方法		団体登録更新アンケート (城ノ平, 土佐山, 針木合 同で実施)	平成29年度は実施なし
	② 調査期間		H28.6.15~H28.9.30	
	③ 配布数		44	
	④ 回収数		9	
	⑤ 回収率	- %	20.45 %	- %
調査結果			4点満点で満足度評価したところ、目標値3.70に対して3.69であった。立地条件に対する評価が2.94と低かったものの指導者の対応については非常に高い評価があり、全般的に高い満足度となった。	

7 利用者からの苦情・意見等及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

日付	苦情・意見等	対応状況
平成29年度は該当なし		

## 8 評価シート(自己評価・一次評価・総合評価)

### (1) 業務の履行状況の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価	
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会	
1 開館時間等	条例に基づき、開館時間・休館日は遵守されているか	3	3	3.0	
2 法令等遵守	地方自治法、施設に係る条例その他関係法令等は遵守されているか	3	3	3.0	
3 職員配置	適切な人員配置がされたか	3	3	3.0	
4 職員研修	管理運営のために必要な研修等が適切に行われたか	3	3	3.0	
5 使用許可業務	条例に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われたか	3	3	3.0	
6 施設の平等利用の確保	施設利用申請等に対する平等の確保策はとられているか	3	3	3.0	
7 使用料	使用料の徴収・減免等の手続は適正に行われているか	3	3	3.0	
8 保守点検業務・警備業務	保守点検業務・警備業務は適切に行われたか	3	3	3.0	
9 清掃・維持管理業務	清掃、維持管理業務は適切に行われたか	3	3	3.0	
10 廃棄物処理業務	廃棄物処理業務は適切に行われたか	3	3	3.0	
11 修繕業務	修繕業務は適切に行われたか	3	3	3.0	
12 事業の実施状況	条例、事業計画書等に基づき、事業を実施しているか	3	3	3.0	
13 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準か	3	3	3.0	
14 利用促進の取組	利用者増加のための対策は適切に行われたか	3	3	3.0	
15 施設賠償責任保険の加入	施設賠償責任保険に加入しているか	3	3	3.0	
16 利用者の安全確保対策	事故時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	2.7	
17 緊急時対応	緊急時・防災時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	2.0	
18 個人情報保護に関すること	個人情報保護に関する対策は適切か	3	3	2.7	
19 情報公開に関すること	情報公開に関する対応は適切か	3	3	3.0	
20 備品購入・管理の状況	備品の購入手続・管理体制は適切に行われたか	3	3	3.0	
配点60点(20項目×3点)		小計	60	60	58.4

#### 評価基準

点数	小項目の評価基準
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

### (2) サービスの質の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価	
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会	
1 利用者ニーズの把握	利用者ニーズを把握するとともに、利用者ニーズを事業の計画及び実施に反映できているか	4	4	3.0	
2 接客態度・苦情要望等への対応	接客態度、苦情・要望等への対応等は適切か	4	3	3.0	
3 施設内の案内表示	施設内の案内表示は見やすくなっているか	4	3	3.0	
4 利用案内	施設情報・事業実施情報等は容易に入手できるようになっているか パンフレット・利用案内等は分かりやすくなっているか	4	3	3.0	
5 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	4	4	4.0	
6 施設運営業務	実施された事業内容は適切に行われているか	4	4	4.0	
7 備品管理	備品管理は適正に行われているか	4	4	4.0	
8 自主事業の実施状況	施設目的に沿った自主事業が実施されたか	4	4	3.3	
9 目標達成度	施設目的・課題に沿った目標を設定し、目標達成に向けた取組はなされたか	4	3	3.0	
配点45点(9項目×5点)		小計	36	32	30.3

#### 評価基準

点数	小項目の評価基準
5	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、非常に優れていると認められる。
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善や目標の見直しが必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

## (3) サービス提供の継続性と安定性

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価	
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会	
1 経費節減・効率的な運営	経費節減及び効率的な管理運営のための工夫が見られるか	3	3	3.0	
2 事業収支	事業収支は妥当か	3	3	3.0	
3 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	3	3	3.0	
4 人件費比率	支出に占める人件費の割合は妥当か	3	3	3.0	
5 外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合は妥当か	3	3	3.0	
配点15点(5項目×3点)		小計	15	15	15.0

## 評価基準

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく経営がなされている。
2	概ね事業計画・収支計画等に基づく経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく経営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。
0	事業計画・収支計画等に基づく経営が全くなされておらず、抜本的に業務の全面的な見直しが必要である。

## 9 自己評価・一次評価結果

## (1) 評価結果

評価分類	配点	自己評価 (指定管理者)	配点に対する割合	一次評価 (施設所管課)	配点に対する割合
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60 点	100 %	60 点	100 %
(2) サービスの質の確認	45 点	36 点	80 %	32 点	71 %
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	15 点	100 %
合計	120 点	111 点	93 %	107 点	89 %

## (2) 自己評価(指定管理者評価)の内容

年度	評価内容
27	協定書の・事業計画書他に定める管理運営は概ね実施できた。施設利用については、地元団体や学校、職場の大会等が主である。今後も西部地区のスポーツ施設として利用者拡大に努めていきたい。 指定管理者自主事業については、郊外の施設であり参加を募ることが難しい中ではあるが、前年度と同水準で実施し、地域の活性化、施設の有効活用、稼働率向上に貢献することができている。
28	協定書・仕様書・事業計画書等に定める水準の管理運営は実施できた。 事業開催数及び事業参加者数はともに増加し事業参加者満足度も向上した。 安全・安心施設への取組として老朽化により暗くなっていたトイレ内照明の更新を行った。 利便性向上及び経費削減として整備員を派遣しグラウンド整備を行った。
29	協定書・仕様書・事業計画書等に定める水準の管理運営は概ね実施できた。 事業開催数は28年度と同水準で実施したが指導員退職により教室内容を変更したため事業参加者数減少。事業参加者満足度についても教室開催PR等に課題が残った。 安全・安心施設への取組として老朽化により古くなっていたテニス審判台5台の更新を行った。 利便性向上及び経費削減として整備員を派遣しグラウンド整備を行った。 予防保全として整備用スポーツラクタの点検整備を行った。

(3) 一次評価(施設所管課評価)の内容

年度	評価内容
27	施設の老朽化もあり、利用率は横ばいであるが、利用者数は減少している。職員は常駐せず、地元団体と連携し、効率的な管理運営に努めている。 自主事業について、昨年同様の事業を開催するとともに、教室修了者に対し、地元のスポーツ少年団の紹介・引継ぎをし、スポーツ継続を促している。 今後も自主事業の拡充など更なる利用促進に向けた取組に期待したい。
28	施設の老朽化による全体的な利用者も減少傾向にある。 自主事業については、例年同様の事業を開催する中で、夏休み期間を利用した小学生ソフトテニス教室は特に人気があった。 今後も自主事業の拡充など更なる利用促進に向けた取組に期待したい。
29	施設の老朽化による全体的な利用者も減少傾向にある。 自主事業については、ソフトテニス教室は開催できなかったが、新規事業を開催し好評を得ている。 今後も自主事業の拡充など更なる利用促進に向けた取組に期待したい。

10 総合評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	評価 (指定管理者業務評価委員会) 合計	配点に対する割合	評価
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	58.4 点	97 %	<b>A</b>
(2) サービスの質の確認	45 点	30.3 点	67 %	
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15.0 点	100 %	
合計	120 点	103.7 点	86 %	

評価基準

区分	S	A	B	C
評価基準	評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、全ての小項目で3点以上の評価であるもの	・評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 ・評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、小項目で2点以下の評価があるもの	評価点数の合計値が配点合計点数の45%以上65%未満	評価点数の合計値が配点合計点数の45%未満
評価内容	・事業計画書・仕様書を上回る取組がなされ、非常に優れた実績をあげている。 ・適正に管理運営が行われており、またはそれ以上の取組がなされ、優れた実績をあげている。	事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。	概ね事業計画書・仕様書に沿った適正に管理運営が行われているが、管理運営の一部に改善を要する。	事業計画書・仕様書に沿った管理運営が行われていない事項があり、管理運営の大部分において改善を要する。

## (2) 総評

概ね適切な管理運営がなされていると考えます。経費縮減策にも積極的に取り組んでいただいていることは評価できます。今後は、利用者の安全確保のための対策を実施していただきたいと考えます。

## (3) 総合評価実績

年度	評価結果	総合評価点数	総 評
27	A	— 点	概ね適切な管理運営がなされていると考えます。施設所管課と協議し、緊急時のマニュアル整備への対応を適切に行ってください。今後も利用者の増加につながる取組をお願いします。
28	A	103.7 点	概ね適切な管理運営がなされていると考えます。昨年度の指摘事項でもある緊急時対応マニュアルの早期策定とともに、管理者が常駐しない施設であることから、利用者に対する周知の実施をお願いします。
29	A	103.7 点	概ね適切な管理運営がなされていると考えます。経費縮減策にも積極的に取り組んでいただいていることは評価できます。今後は、利用者の安全確保のための対策を実施していただきたいと考えます。

## 11 指定管理業務における課題・改善事項及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

課題・改善事項	改善時期	改善に向けた対応
針木運動公園全体の施設長寿命化計画策定	平成30年度～	全体的に経年劣化の前に施設長寿命化計画必要。
針木運動公園全体の用器具経年劣化	平成30年度～	29年度はテニス審判台の更新を実施。今後も状態等に応じて適宜補充又は更新。
グラウンドバックネット改修	平成30年度～	工事要望継続。
テニスコートサーフィス改修	平成30年度～	工事要望継続。
全体的な利用者数の減少	平成30年度～	利用者からはサーフィスの老朽化により不陸が発生していることで使用しづらい、ハードコートなので負担が大きい、グラウンドのバックネットが片面なくて使用しづらいなどの声を聞いている。テニスコートの人工芝化やグラウンドのバックネット設置が必要。